

実りの秋 楽しんで 前橋で収穫感謝祭



キャベツの抱え取りに挑戦する収穫感謝祭の来場者たち(3日、前橋市亀里町で)

県産農産物で「実りの秋」を楽しんでもらおうと、「収穫感謝祭2015〜ぐんまの農業応援団大集合!〜」が3日、前橋市亀里町のJAビル前で始まった。県とJA群馬中央会などで作る実行委員会の主催で、約3万人が訪れた。

会場では、県内各地の農協や企業などがテントを構え、ネギや小松菜といった野菜やリンゴ、ナシなどの果物、コンニャクやジャムなど加工品を販売した。また、30秒間で抱え切れた分の嬉恋キャベツを持ち帰れるイベントや、キノコのい

ため物やもちを無料でふるまうブースには、長蛇の列ができていた。

夫と訪れた高崎市の主婦西村啓子さん(65)は、「毎年楽しみにしているイベント。質の良い県内各地の農産物を、1か所で安く楽しめる」と、満足そうだった。4日も午前9時半から午後3時まで行われる。

拉致問題の早期解決を求めて署名する来場者たち(3日、前橋市亀里町で)



拉致問題解決求め 前橋で署名と募金

北朝鮮による拉致被害者と家族を支援する「救う会・群馬 群馬ボランティアの会」(大野トシ江代表)と拉致問題解決に取り組む県議会議員の「群馬拉致議連」のメンバーは3日、前橋市内で拉致問題解決を求める署名と募金を呼びかけた。

拉致問題に関心のある高

校生や保護者らも参加し、

同市亀里町のJAビル前で

開催されている「収穫感謝

祭」の会場の一角で、「拉

致問題は決して許すことの

できない人権侵害だ。解決

に向けて力を貸してほし

い」などと呼びかけた。署

名した同市粕川町稲里の斉

藤広さん(83)は「拉致問題

解決に向けてできる限り協

力したい」と話した。

大野代表(82)は「被害者

家族の高齢化が進み残され

た時間は多くない。一日で

も早い解決に向けて呼びか

けていきたい」と語気を強

めた。

3日で約1000人の署

名が集まっており、4日も

署名活動は行われ、政府に

提出される。